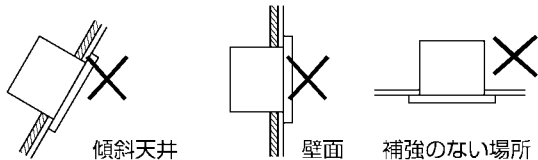
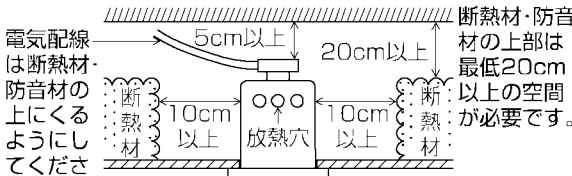


 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	
 禁止 このような場所には取付けないでください。 この器具は天井埋込・直付両用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。  傾斜天井 壁面 補強のない場所	 禁止 ダウンライトなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。 →放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。  電気配線は断熱材・防音材の上にくるようにしてください。 断熱材・防音材の上部は最低20cm以上の空間が必要です。 器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。住宅での断熱施工天井ではご使用できません。
 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 アース工事 アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。	 厳守 ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラをご使用ください。 →チラツキ・誤動作の原因になります。 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
接触禁止 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		禁止 ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。	
水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V～AC254V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	
禁止 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	厳守 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。		

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	
製品・お取り扱いなどのご相談は	修理・アフターサービスのお問い合わせは
ナビダイヤル (全国共通番号)	ナビダイヤル (全国共通番号)
電話  0570-055123	電話  0570-015123
	FAX  0570-025123
受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)
●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)	

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！	
 ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。		ご使用 中 止 故障や事故防止のため、電源 スイッチを切り、必ず販売店 に点検、修理を依頼してくだ さい。

保証とアフターサービスについて	保証とアフターサービスについて
保証について ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。 ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	修理を依頼されるとき ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XD90036L XD90037L	AC100V～AC254V	0.57A～0.24A	55W	LED
		0.57A～0.24A	56W	
		0.59A～0.25A	57W	
		0.59A～0.25A	58W	
		0.66A～0.28A	65W	

■LEDユニット(別売)

型 番	消費電力	使用ランプ
XE40806L・XE40807L・XE40808L・XE40809L	55W	LED
XE38883L・XE38884L・XE38885L・XE38886L	56W	
XE40798L・XE40799L・XE40800L・XE40801L	57W	
XE38887L・XE38888L・XE38889L・XE38890L	58W	
XE38879L・XE38880L・XE38881L・XE38882L XE40802L・XE40803L・XE40804L・XE40805L	65W	

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

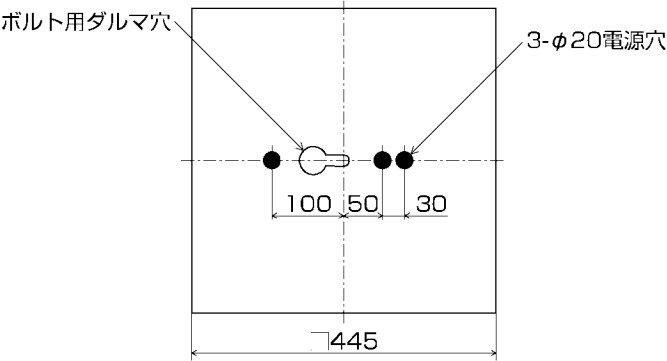
取付ボルトはW3/8、またはM10を使用する。

2 埋込取付の場合、天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法
□450mm

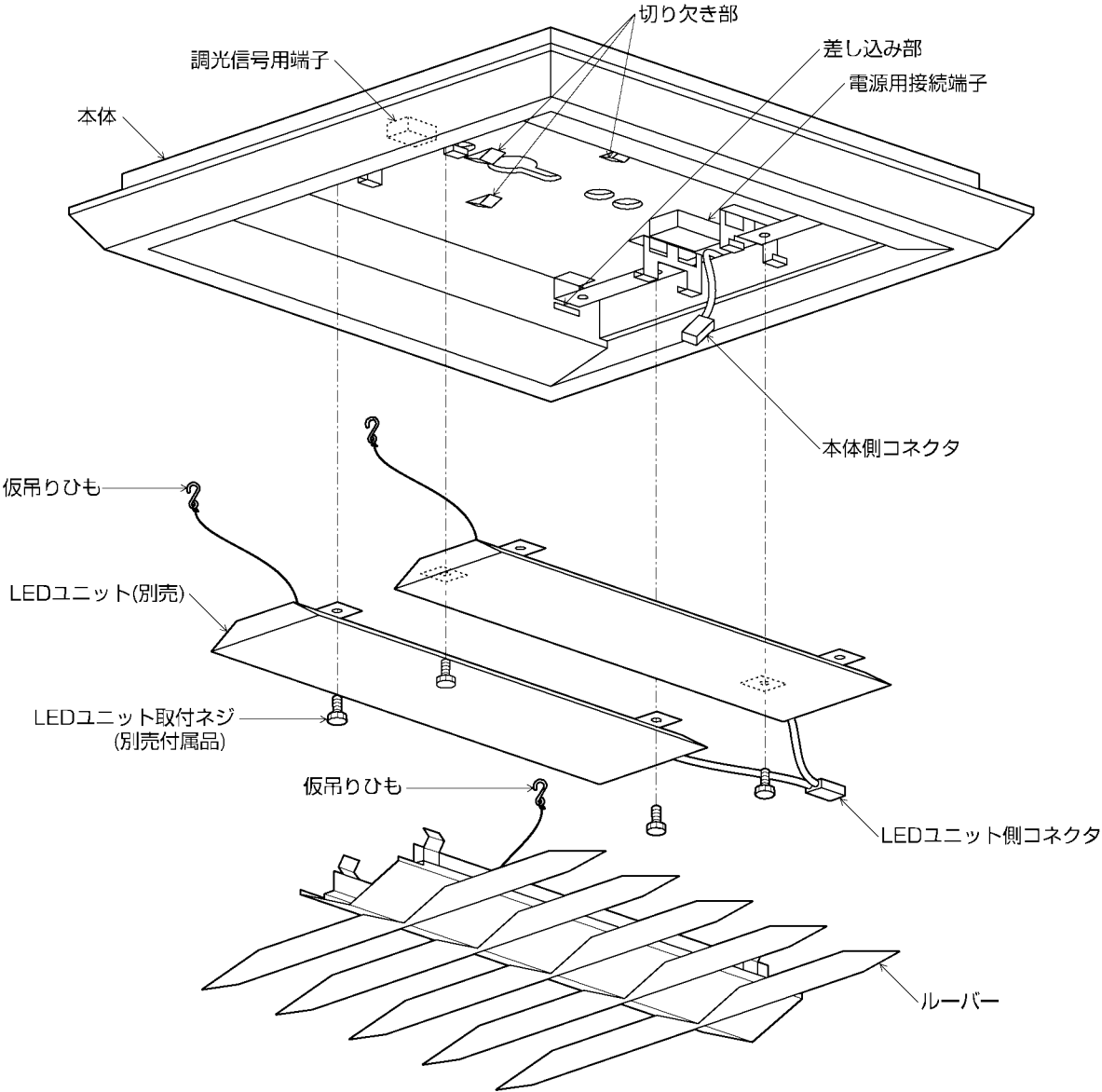
3 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。



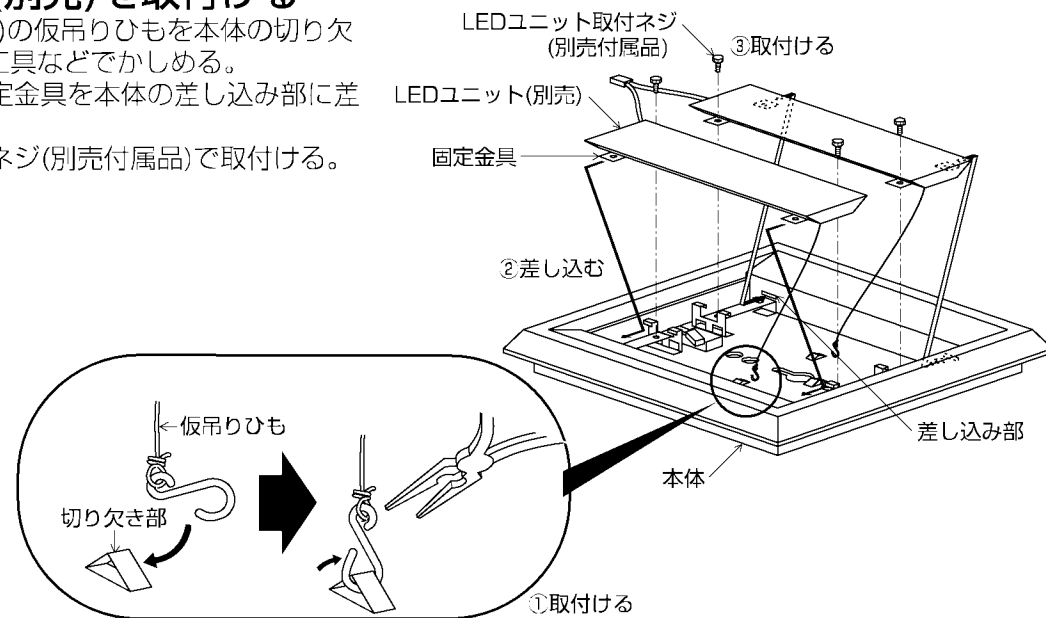
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 LEDユニット(別売)を取付ける

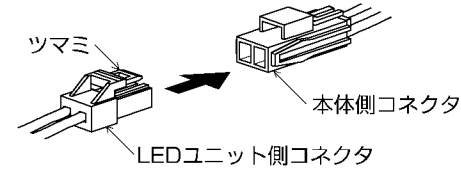
- ①LEDユニット(別売)の仮吊りひもを本体の切り欠き部に引っ掛け、工具などでかしめる。
- ②LEDユニットの固定金具を本体の差し込み部に差し込む。
- ③LEDユニット取付ネジ(別売付属品)で取付ける。



2 電源コネクタを接続する

LEDユニット側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

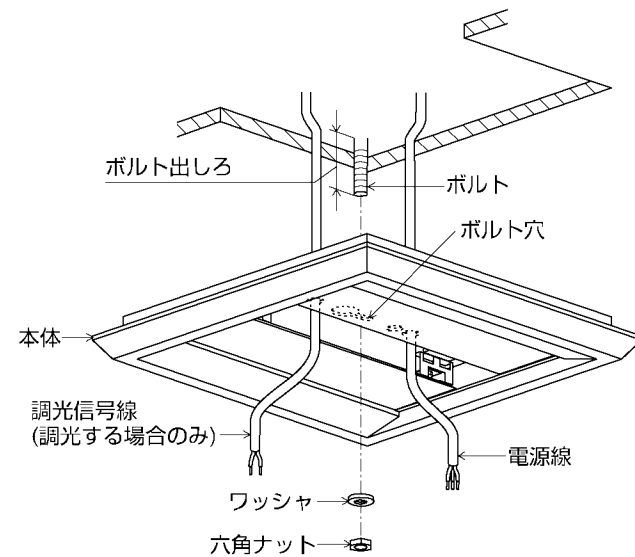
⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



3 本体を取付ける

本体に電源線、調光信号線(調光する場合のみ)を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

ボルト出し(天井面より)	
埋込の場合	0mm
直付の場合	25mm



4 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源用接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り容量10A以下) はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

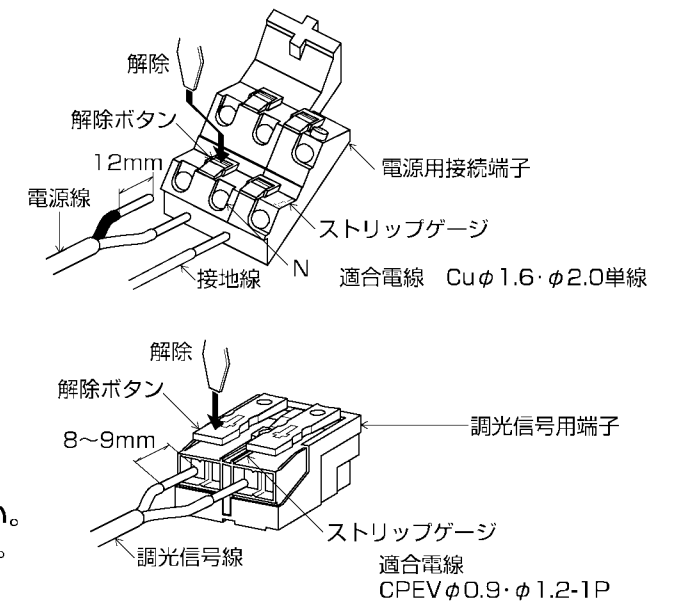
※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。

<調光する場合>

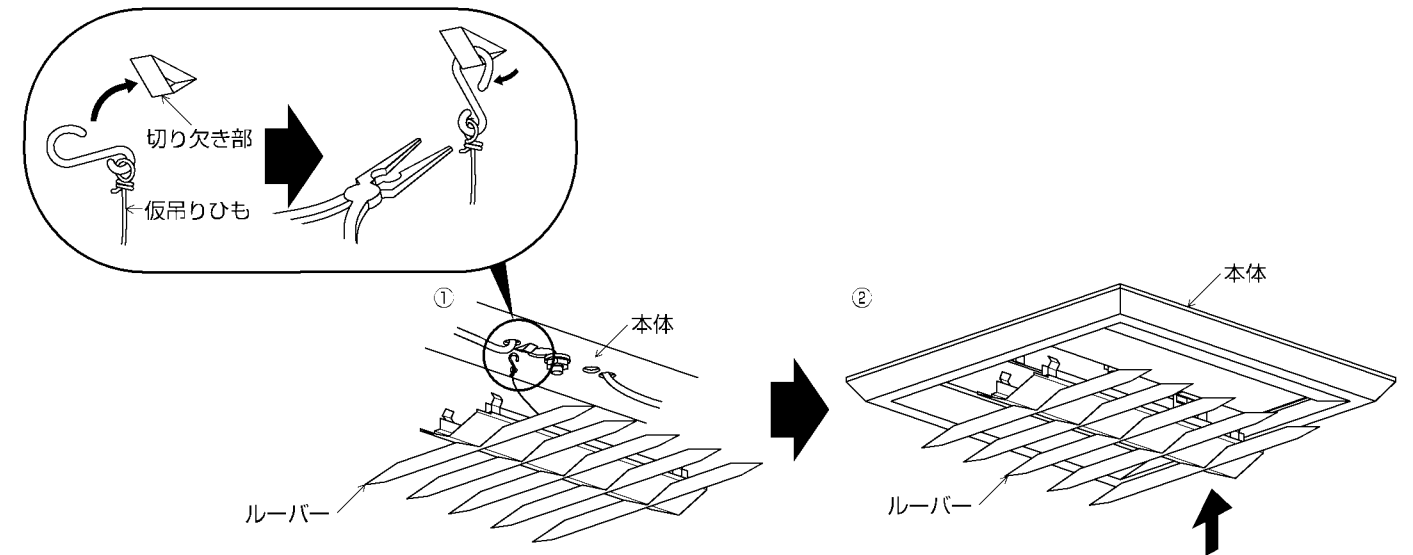
ストリップゲージに合わせて調光信号線の被覆をむき、調光信号用端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押し、調光信号線を抜く。

⚠ 警告 調光信号線の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



5 ルーバーを取付ける

- ①ルーバーの仮吊りひもを本体の切り欠き部に引っ掛け、工具などでかしめる。
- ②ルーバーをまっすぐ押し上げ、本体に取付ける。



6 点灯の確認を行なう

LEDユニットの接続は、非通電状態で行ってください。通電状態で接続しても点灯しません。
LEDユニットの取替え作業前に入力電源がONされていた場合は、入力電源をOFFにして20秒以上経過後、作業してください。

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- ・器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- ・自動調光制御システム プロセッサと組み合わせてご使用の場合、必ず壁スイッチを設置してご使用ください。消灯できなくなる場合があります。
- ・点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■LEDユニット使用上のご注意

- ・明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。

■LEDユニット交換について △注意 LEDユニット交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

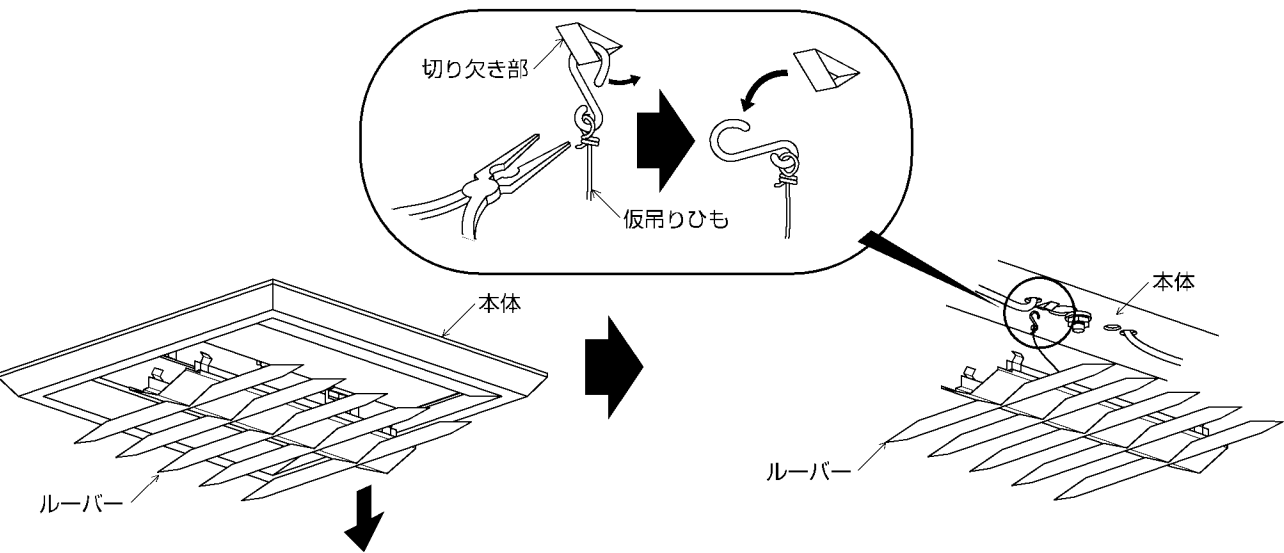
△警告 指定のLEDユニット以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のLEDユニットを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やLEDユニットが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

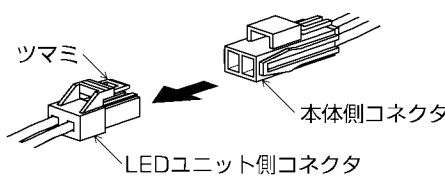
2 ルーバーを取外す

ルーバーをまっすぐ引き下げ、ルーバーを支えながら仮吊りひものかしめた部分を工具などで広げ、本体の切り欠き部から取外す。



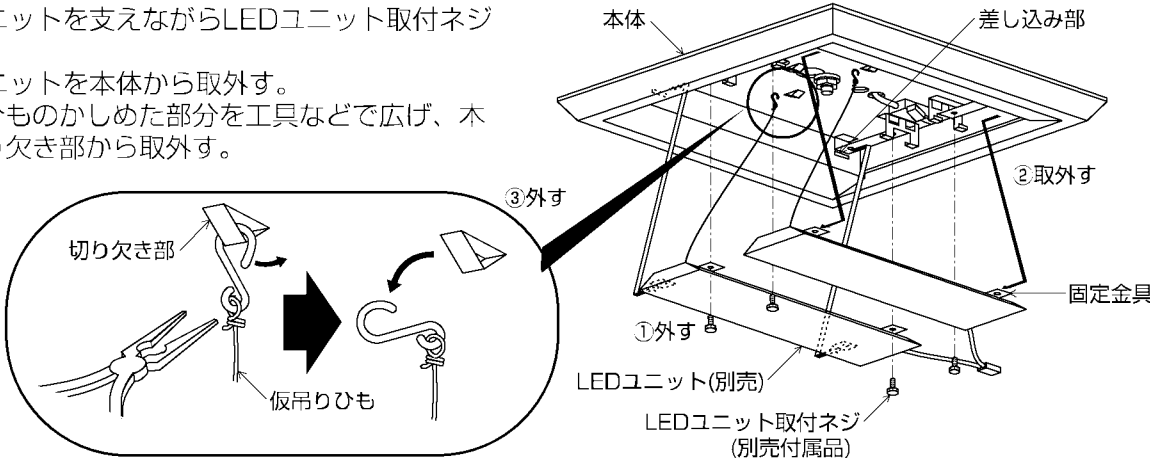
3 コネクタを取外す

LEDユニット側コネクタのツマミを押しながら、本体側コネクタから引き抜く。



4 古くなったLEDユニットを取外す

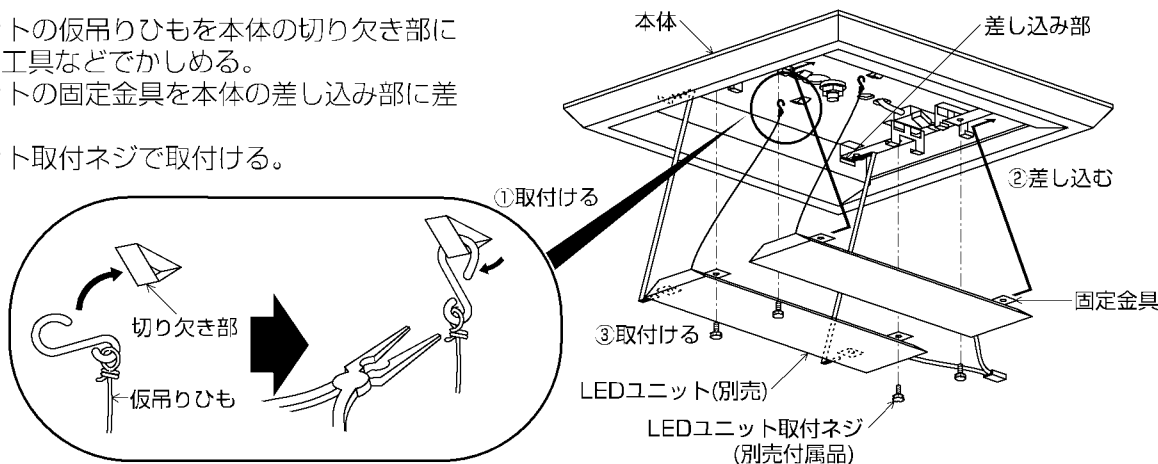
- ① LEDユニットを支えながらLEDユニット取付ネジを外す。
- ② LEDユニットを本体から取外す。
- ③ 仮吊りひものかしめた部分を工具などで広げ、本体の切り欠き部から取外す。



5 新しいLEDユニットを取付ける

LEDユニットの取付けは丁寧に、確実に行なってください。落下によるけがの原因になります。

- ① LEDユニットの仮吊りひものを本体の切り欠き部に引っ掛け、工具などでかしめる。
- ② LEDユニットの固定金具を本体の差し込み部に差し込む。
- ③ LEDユニット取付ネジで取付ける。



6 コネクタを接続する

施工手順2を参考にコネクタを接続する。

7 ルーバーを取付ける

施工手順5を参考にルーバーを取付ける。

8 使用済みのLEDユニットは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。